

化粧品がもたらす環境問題と人々の心情の移り変わり

3年2組37番山本 亜美
3年3組03番池田 夢菜
3年3組39番吉永 美優

Keyword:「化粧品」「サステナブルコスメ」「環境問題」「エシカルコスメ」「環境汚染」

1.はじめに

私たちは、「化粧品を通して多くの人に環境問題について考えてもらいたい」という思いから、このテーマを選んだ。身近な存在である化粧品をきっかけにすれば、環境問題をより自分ごととして感じてもらえるのではないかと考えたからである。社会問題について調べる過程で、「サステナブルコスメ」という言葉に出会い、環境に配慮した化粧品づくりが広がっていることを知った。これまで環境問題というと、地球温暖化や海洋汚染など、どこか遠い世界の話のように感じていたが、サステナブルコスメの存在を知ることで、日常生活の中にも環境に貢献できる方法があることに気づいた。

私たちは、こうした「身近な関心」と「地球環境」という一見離れたテーマを結びつけることで、より多くの人に「自分にもできることがある」と感じてもらえるのではないかと考えた。化粧品は多くの人にとって日常的に使うものであり、そこに環境への配慮が加わることで、無理なくエシカルな行動を広げができると考えた。また、特に若い世代にとって、環境問題を難しく考えるよりも、好きなことや関心のあることを通して意識を高めていく方が、より自然で効果的だと感じた。このような考え方から、私たちはサステナブルコスメをテーマに探究を進めることにした。

2.序論

私たちの問いは、「実際にエシカルコスメを使うことによって、人々の環境問題への意識は向上するのか」というものである。この問い合わせたのは、単に化粧品を作ることを目的とするものではなく、身近な日用品を通して環境への意識をどのように高められるのかを知りたいと考えたからである。近年、環境や社会に配慮した「エシカル消費」という言葉が広まりつつあるが、化粧品という身近な分野では実際にどの程度「エシカルコスメ」というものが浸透しているのかに興味を持った。そこで私たちは、環境に配慮した化粧品を制作している方のワークショップに参加し、講師の方に原料の選び方や、サステナブル化粧品を広めるためにどのような活動を行っているのかなどを質問しながら、実際にエシカルコスメ作りを体験した。その後、学んだ作り方をもとに、自分たちだけでリップクリームを試作し、材料の組み合わせや使い心地を比べながら改良を重ねた。さらに、その成果を活かして学校でワークショップを開催し、参加者に実際に化粧品作りを体験してもらしながら、サステナブルな化粧品が環境にどのような影響を与えているのかを紹介した。同時にアンケート調査を行い、サステナブルコスメや環境問題に対する同世代の意識や関心の度合いを調べた。この一連の活動を通して、私たちはエシカルコスメが単なる化粧品ではなく環境問題への意識を高める手助けになることを実感した。また、環境に配慮した化粧品の可能性や広め方について学ぶことができた。

3.本論

校内の高校生を対象に行ったアンケートの結果、回答者の半数以上が、化粧品を購入する際にブランドの知名度やパッケージのデザインの可愛さ、価格はどれくらいかなどを重視していることが明らかになった。また、エシカルコスメやサステナブルコスメといった環境に配慮して作られている化粧品の存在を知らない人が約5割にのぼることも分かった。さらに、化粧品を作ることにより、環境問題を引き起こしているという事実を認識している人も多くはなかった。

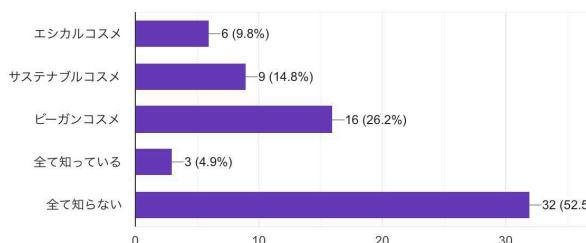
奈良県大和郡山市で行われたマルシェでのエシカルコスメ作り体験会では、特別な資格を持っていないなくても、自宅で手軽に、そして、ショップで化粧品を購入するよりも低価格で自分好みのエシカルコスメを製作できることを知った。また、化粧品を制作する際に使用する原料の背景には、難民労働の問題が関わっていることも分かった。例えば、化粧品に使用されるパーム油の生産現場では、移民労働者が低賃金かつ長時間労働を強いられているのが現実である。

また、校内で実施したエシカルリップ製作体験会には約20人の高校生が参加し、それぞれ自分の手でエシカルリップを製作する体験を行った。そこでは、多くの方に自分でコスメを作る楽しさを感じてもらうことができた。

今回の調査と体験を通して、多くの高校生が化粧品の購入時に環境や社会問題よりもブランドやデザイン、価格を重視している現状が明らかになった。これは、エシカルコスメやサステナブルコスメに関する情報が十分に広まっていないことが一因と考えられる。しかし、実際にエシカルコスメを製作する体験を通じて、環境問題や労働問題の背景を知ることで、参加者の意識に変化が生まれたといえる。このような体験型の学びは、消費行動を見直すきっかけとなり、持続可能な社会づくりに貢献する可能性を持っている。今後は、より多くの人にこうした学びの機会を広げていくことが求められる。

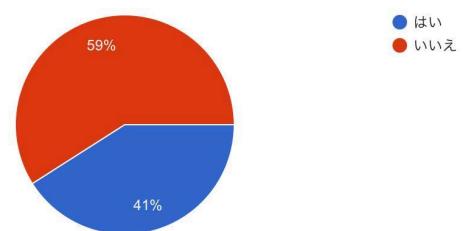
エシカルコスメ、サステナブルコスメ、ビーガンコスメのどれかひとつでも名前を聞いたことはありますか？あるものを選んでください。

61 件の回答



化粧品が環境問題を引き起こしていると知っていましたか？

61 件の回答



4.結論

若者を中心にサステナブルコスメの魅力を伝えてきたが、より多くの人に理解してもらうには、話すだけではなく「体験」してもらうことが効果的だと感じた。自分の手でコスメを作ったり実際に使ったりすることで、環境にも自分にも優しい製品であることを実感できる。

今後の課題は、サステナブル化粧品の特徴やリップの作り方をまとめたパンフレットを作成し、学校や地域に配布することだ。これにより存在を広く知ってもらい、環境に配慮した選択のきっかけを提供したい。最終的には、サステナブルな化粧品が「特別」ではなく「当たり前の選択」として定着することを目指している。

環境に良い化粧品を生産しているブランド一覧

- LUSH
- Aesop
- Skin
- shiro
- アーティア
- エチニク
- ふるみ化粧品
- トリヨリ
- ジュリー

サステナブル化粧品とは

製造から使用後に廃棄するまでの製品のライフサイクルの中で、人が使用して安全であり、環境への負担が少なく、関わる人が適正な待遇を受けられる、人や環境、社会にやさしいコスメのこと
ethicame.comより

サステナブルリップの作り方

材料 (1回分) 一茶匙・香料1ml
分量ココアバター40g
クリスマルクルスクス1g
ボタニカルカクテー・アーモンドト-2-3滴
レモンジードラムクル・ミント1ml
ハーブ: ブラックセドリック10g
分量ココアバター10ml

化粧品が及ぼす環境と人への被害

マイクロプラスチック汚染
微細粒やマイクロビーズは、小さなプラスチックチップビーズ、マイクロプラスチックが含まれています。これらのビーズは下水処理施設を通過し、海洋に放出し、海中の生物に影響を与え、最終的に人間の体内にも蓄積される可能性があります。

プラスチック容器
過剰な生産により売れ残った商品が廃棄され、リサイクルが困難なため、資源の過剰消費や環境負荷につながっています。

化学物質の使用
化粧品には、防腐剤、香料、香料など、様々な化学物質が含まれています。

動物実験
人間の目に入れても大丈夫かどうかを、瓶表面に動物で実験している企業もあります。

SUSTAINABLE

美しさも
地球への優しさも、
ひとつに。

global exploration

5.おわりに

この活動を通して、環境問題は自分の生活と深くつながっていることに気づいた。これまで化粧品を選ぶときは見た目や価格を重視していたが、今ではその背景にある環境や労働の問題にも目を向けるようになった。エシカルコスメ作りを体験したことで、小さな行動でも環境に貢献できると実感した。今後は買い物や日常の選択の中で、できるだけ環境に優しいものを選び、周囲にもその大切さを伝えたい。

6.参考文献・出典

参考文献・出典等なし